

ひとよし 市議会だより

第114号



2022 / 令和4年11月1日 発行



みそぎばし
新しくなった禊橋(青井阿蘇神社)

主な内容

- ② 9月定例会報告
- ⑥～⑩ 一般質問 ～市政を問う～
- ⑪ 子ども議会
- ⑫ 議会制度研究会報告

編集 議会報編集委員会

発行 人吉市議会
人吉市西間下町字永溝7番地1
☎ 0966-22-2111 (代)
E-mail gikai@hitoyoshi.kumamoto.jp

市のホームページでもご覧になれます
URL <https://www.city.hitoyoshi.lg.jp/>

9月定例会報告

令和4年9月第5回定例会は9月6日から9月28日までの23日間開催しました。

令和4年度 一般会計補正予算 8億2,223万9千円 増額可決 (補正後の総額は213億7,351万7千円)

令和4年度一般会計補正予算の主なもの

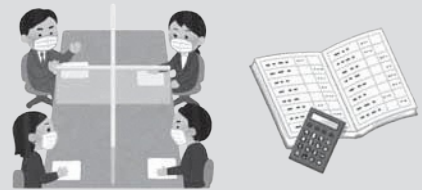
原油や物価高騰対策に関するもの	合計	2億6,395万7千円
水道事業特別会計繰出金 4,625万9千円	観光客等向け飲食店 支援補助金	1,200万円
し尿汲取り・浄化槽 使用者料金支援事業 1,905万8千円	公共下水道事業 特別会計繰出金	5,940万円
農家支援補助金 3,930万円	学校給食費助成金	794万円
事業復活支援給付金 8,000万円		
新型コロナウイルスワクチン 接種事業	大柿地区移転団地整備等 調査設計業務委託料	2,520万円
		9,100万5千円

決算特別委員会を 設置しました

9月定例会最終日に、令和3年度の決算を審査する特別委員会を設置しました。委員会は閉会中に審査を行い、12月定例会で結果を報告します。

委員長 松村 太
副委員長 西 洋子
委員

徳川 禎郁、池田 芳隆
宮原 将志、高瀬 堅一
本村 令斗、大塚 則男



審議された議案等の議決結果

※表決が割れた議案については、5ページに記載しています。

番 号	件 名	議決結果	番 号	件 名	議決結果
議第50号	令和4年度 人吉市一般会計補正予算(第5号)	原案可決	議第63号	人吉市におけるあらゆる差別をなくし人権を守る条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第51号	令和4年度 人吉市一般会計補正予算(第6号)	原案可決	議第64号	人吉市農村公園条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第52号	令和4年度 人吉市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	議第65号	人吉都市計画事業紺屋町被災市街地復興土地区画整理事業施行条例の制定について	原案可決
議第53号	令和4年度 人吉市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決	議第66号	財産の取得について	原案可決
議第54号	令和4年度 人吉市介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決	議第67号	人吉市過疎地域持続的発展計画を定めることについて	原案可決
議第55号	令和4年度 人吉市水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	議第68号	川辺川地区水利施設管理強化事業の事務の委託に関する協議について	原案可決
議第56号	令和4年度 人吉市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	議第69号	人吉市国民健康保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第57号	令和3年度 人吉市水道事業特別会計利益の処分及び決算の認定について	継続審査	議第70号	人吉市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例及び人吉市福祉事務所設置条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第58号	令和3年度 人吉市公共下水道事業特別会計利益の処分及び決算の認定について	継続審査	議第71号	財産の取得について	原案可決
議第59号	人吉市個人情報の保護に関する条例の全部を改正する条例の制定について	原案可決	議第72号	財産の取得について	原案可決
議第60号	人吉市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	議第73号	令和3年度 人吉市歳入歳出決算認定について	継続審査
議第61号	人吉市職員の退職手当の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	議第9号	人吉市議会議員定数条例の一部を改正する条例	原案可決
議第62号	人吉市体育施設条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決			

総務文教委員会報告

●委員長 宮原 将志 ●副委員長 宮崎 保
●委員 松村 太・犬童 利夫・西 信八郎

人吉市体育施設条例の一部を改正する条例を承認

人吉市体育施設条例の一部を改正する条例の制定については、旧田野小学校の跡地の売却に伴い、人吉市田野テニスコートを廃止するため、条例の一部を改正するものです。

委員から、「関連団体からコート数が少なくなる中で、代替施設の話や村山公園テニスコートの整備の要望等があったとのことなので、こちらもしっかり検討していただきたい」との意見が出されました。



田野テニスコート

一般会計補正予算を承認

総務部・復興政策部関係の主なものは、くま川鉄道、バス及び市内タクシー事業者の原油価格や物価高騰等に伴う経営支援のための地域公共交通事業者支援金や、HASSENBA から城見庭園までをリバーアクティビティの拠点とし、にぎわいと交流の形成に向けた城見庭園利活用調査検討業務委託料などです。

委員から、「城見庭園利活用調査検討業務委託料で、コミュニティ機能を有した緊急避難場所ということだ

が、球磨川沿いに位置していることから、どういうものを想定されているのか」との質疑に、「どういうものを造っていくのかということ委託業務の中で、地域住民の方々、周辺の事業所等と話をしながら進めていくこととしている。避難場所としての機能を有するものということ、川沿いにあることから、垂直避難が想定される」と考えられる」との答弁がありました。

教育部の主なものは、小・中学校で使用している学習机の天板が狭いため、後付けできる拡張機具を購入するものや、人吉二中の生徒用下駄箱が昭和55年の校舎新築当時のままで、経年劣化により著しく破損しているため、現状の下駄箱の廃棄処分等委託料や新たな下駄箱の購入費用などです。

委員から、「机の天板拡張機器は小・中学校全児童の数なのか」との質疑に、「小学3年生以上の児童生徒1,957名分」との答弁がっております。



下駄箱の撤去及び設置について現地視察(第二中学校)

厚生委員会報告

●委員長 高瀬 堅一 ●副委員長 本村 令斗
●委員 徳川 禎郁・池田 芳隆・平田 清吉・井上 光浩

条例案件の3件を承認

「人吉市におけるあらゆる差別をなくし人権を守る条例の一部を改正する条例の制定について」は、人吉球磨地域において部落差別問題は発生していませんが、県内では後を絶たないため、県が行う取組の趣旨に沿った条例の一部を改正するものです。

「人吉市国民健康保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について」は、新型コロナウイルス感染症に関わる傷病手当金の支給の適用期間が、令和4年12月31日まで延長されたことに伴い条例の一部を改正するものです。

「人吉市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例及び人吉市福祉事務所設置条例の一部を改正する条例の制定について」は、いずれも新庁舎の住所に記載を改めるものです。

一般会計補正予算を承認

主なものとして、住まいの再建支援件数の増加に伴う増額やコロナ禍における原油価格、物価高騰対策として、上・下水道使用料の減免を行うための予算計上や上・下水道未使用者への支援策(上水道未使用者等支援交

付金・し尿汲取り料金支援補助金・浄化槽管理料等支援補助金)に関する予算が増額されました。また、新型コロナウイルスワクチン接種拡大のための各種対応に伴う増額補正も行います。



特別会計補正予算の5件を承認

主なものとして「国民健康保険事業」は、昨年度の出産育児一時金に係る一般会計繰入金金の精算を行うものや前年度からの繰越金の確定によるものです。

「後期高齢者医療」は、前年度からの繰越金や負担金の精算によるものです。

「介護保険」は介護給付費などに係る基金交付金の精算と前年度からの繰越金の確定によるものです。

「水道事業」はコロナ禍において、市民や事業所の負担軽減を図るため、水道料金の一部を減免するものです。またスマート検針端末機を稼働させるためのシステム改修を行うものです。

「公共下水道事業」は、物価高騰対策として新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して、下水道使用料の基本料金を減免するものです。

経済建設委員会報告

●委員長 田中 哲 ●副委員長 牛塚 孝浩
●委員 西洋子・豊永 貞夫・福屋 法晴・大塚 則男

条例2件、事務の委託に関する協議について1件、財産の取得について1件、予算案件1件を承認

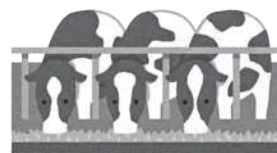
条例の1件目は、人吉市農村公園条例の一部改正です。これは、旧田野小学校跡地等を活用した地域振興に関する覚書を締結している市内民間企業が、年内に用地を取得し、令和5年1月の工事着手に向けた計画となったことから、その手続等を進めるに当たり、農村公園施設の一部を廃止するものです。

2件目は、人吉都市計画事業紺屋町被災市街地復興土地区画整理事業施行条例の制定です。これは土地区画整理法の規定に基づき、土地区画整理事業の名称、施行地区に含まれる地域の名称、土地区画整理事業の範囲などを定めるものです。

事務の委託に関する協議については、川辺川地区水利施設管理強化事業の事務の委託に関するものです。これは本市の区域に係る川辺川地区水利施設管理強化事業の事務の一部を錦町に委託するため、協議により規約を定めるものです。

財産の取得については、西間上第1仮設団地を、市営単独住宅として利活用するため、その用地を、1億5,867万2,400円で購入するものです。

一般会計補正予算(第6号)の主なものは、農林業関係では、農家支援補助金(物価高騰対策)です。これは新型コロナウイルス感染症のまん延等の影響により、飼料や燃料の高騰に対し、経営農家の維持・安定と負担軽減を図るため畜産農家、耕種農家に対し、経費の一部を助成する支援策です。個人経営体には、1経営体当たり一律5万円、法人経営体には、1経営体当たり一律10万円を交付。さらに畜産農家に対しては、飼養頭数、羽数に応じて1経営体当たり20万円を上限として上乗せ交付するものです。



経済関係では、商工費で仮設商店街モゾカタウン人吉駅前を、1年間延長するための、プレハブ等の借り上げ料に794万円。また、事業復活支援給付金(物価等高騰対策)が8千万円となっています。これは国の「事業復活支援金」、または「熊本県事業復活おうえん給付金(豪雨型)」を、受給された事業者の方を対象に、コロナ及び原油価格や物価高騰の影響により苦慮している事業者の持続的発展を支援する目的で、国・県からの給付状況に合わせ、市の支援事業として給付金の上乗せをするものです。

治水・防災に関する特別委員会報告

●委員長 田中 哲 ●副委員長 池田 芳隆 ●委員 全議員

「球磨川水系河川整備計画」の説明を受ける

令和4年9月7日(水)に開催した第12回本特別委員会は、八代河川国道事務所、川辺川ダム砂防事務所、熊本県から「球磨川水系河川整備計画について」、「流水型ダム環境影響評価の検討状況について」を説明いただきました。

委員から、「球磨川水系河川整備計画策定までに、住民や自治体の長から意見を聞かれたとのことであるが、議会からも意見を聞くべきではなかったのか」との質疑に、「様々な形や、説明会で、意見を聴取させていただいた。今回は住民の代表として自治体の長から意見をいただいた」との答弁がありました。

また「パブリックコメントや、公聴会は住民の意見を反映させるためのものと思うが、そこで出された意見の7割以上が流水型ダムに反対と言っている。住民の意見を反映しているとは思えないか」との質疑に、「意見の数ではなく、中身に着目して、どういう意見が出たかということを確認、分類し、それに対し、どう考えているのか、どう反映していくのかという考えを示させていただいた」との答弁がありました。

他にも、整備計画が概ね30年での計画となっているが、年次計画で示すことはできないのかとの質疑や、流

域治水について、説明を受ける機会が少ないと感じるので、広い範囲の被災者に対して、整備計画と進捗を説明してほしいとの要望がありました。

中神地区の遊水地については、「故郷を離れがたく思っておられる方もおられるが」との質疑に対し、「貯留することが重要であると考えている。市が集団移転という方針を打ち出し説明されているので、市と連携し、遊水地事業の必要性をご理解いただけるように合意形成を図っていきたい」との答弁がありました。

県関係では、「御溝川の三次放水路について、住民から早くしてほしいとの意見があるが」との質疑に、「二次放水路は令和5年度に完成する予定。三次放水路については、できるだけ早く着手し、測量、用地の相談を進めたいと思っている。現時点で、完成時期を示すことは難しいが、早期に完成を目指し努力したい」との答弁がありました。

県管理河川について「河川への進入路が少ないのではないか」との質疑に、「河道掘削するためにも進入路は重要と思っている。どのくらいのスパンがいいのか、どこに土砂が溜まりやすいのか、また進入路自体が河道を狭めてしまうこともあるので、そういうことを加味して検討していきたい」との答弁がありました。

復興のまちづくりに関する特別委員会報告

●委員長 宮原 将志 ●副委員長 西 洋子 ●委 員 全議員

第13回復興のまちづくりに関する特別委員会では、今まで人吉市が行ってきた復興の取組状況や大柿地区、青井地区、中心市街地地区の進捗について審査を行いました。

人吉市復興計画及び人吉市復興まちづくり計画に基づく取組状況については、人吉市復興計画に基づく「被災者のくらし再建とコミュニティの再生」に関する取組状況や「力強い地域経済の再生」に関する取組状況などについて。また、人吉市復興まちづくり計画における重点8地区における取組状況について審査を行いました。

大柿地区における今後の住まいとコミュニティについては、7月7日から7月30日の間、57世帯を対象に一部を除いて、職員が直接訪問する形で行った戸別訪問に係る報告がありました。また、今後については、八代河川国道事務所と、あらためて大柿地区における遊水地に関する説明会の実施に向けた協議を行っており、10月中の開催という方向で調整しているとの報告もあっており

ます。委員からは、移転を希望されている方への事業の進め方などについて質疑がありました。

青井地区の進捗については、これまでの協議会の経緯と今後の活動スケジュール、国道445号などの道路や公園等の公共施設の配置案、青井阿蘇神社周辺の賑わい創出案などについて説明がありました。委員からは国道445号拡幅に関し、歩行者の道路横断や住民への説明方法について質疑が出されました。

中心市街地については、中心市街地復興まちづくり推進協議会の設置や協議会の進め方、避難路・避難地等の整備による災害に強いまちの実現に向けた、道路や公園等の公共施設の配置案。区画整理事業の着手に先立ち行う、用地先行買収などについて説明がありました。

委員からは都市計画道路の線形や紺屋町の土地区画整理地区の住民説明のあり方、中心市街地復興まちづくり推進協議会の委員構成などについて質疑がありました。

議員別表決 …「表決が割れた」議案とその議員別表決…

賛否が分かれたもののみを掲載しております。

議案 番号	議員氏名 議案	松村	徳川	池田	牛塚	西	宮原	高瀬	宮崎	平田	犬童	井上	豊永	福屋	本村	田中	大塚	西
		太	禎郁	芳隆	孝浩	洋子	将志	堅一	保	清吉	利夫	光浩	貞夫	法晴	令斗	哲	則男	信八郎
議第65号	人吉都市計画事業紺屋町被災市街地復興土地区画整理事業施行条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退席	○	○	/
発議第9号	人吉市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	/

○：議案に対して賛成 ●：議案に対して反対 ／：議長は表決に加わりません

8月臨時会報告

令和4年8月5日の臨時会では、国庫負担金の追加や、医療従事者や高齢者施設等従事者への新型コロナウイルスワクチン4回目接種に係る経費及び、人吉市出身のタレント内村光良氏の人吉球磨の復興を祈念した短編映画製作の支援補助金などの追加補正予算が提出され、原案可決しました。

番 号	件 名	議決結果
議第49号	令和4年度 人吉市一般会計補正予算(第4号)	原案可決

10月臨時会報告

令和4年10月14日の臨時会では、国庫支出金及び繰入金の追加や、住民税非課税世帯等に対する電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金及び、台風14号に伴う災害復旧費の追加補正予算が提出され、原案可決しました。

番 号	件 名	議決結果
議第74号	令和4年度 人吉市一般会計補正予算(第7号)	原案可決



一般質問

～市政の内容を問う～

一般質問とは、年4回行われる定例会で、議員が市に対して政策の見直しや新たな政策を提言する議員の重要な活動の一つです。

9月定例会では、9月13日から15日までの3日間で13人の議員が登壇し、さまざまな視点から活発な議論が行われました。

その要旨を各議員が報告します。掲載は質問順としています。

各議員の項目にあるQRコードをスマートフォン等の専用アプリで読み取ると、一般質問の録画画像がご覧いただけます。



一般質問通告書は
こちらから

QRコードは特許庁の登録商標です

学校現場の働き方改革について



池田 芳隆



動画視聴

問 教職員の持ち帰り業務について実態を把握しているか。

答 休日出勤の際、システムに打刻していない教職員や、持ち帰り業務の教職員が見受けられる。校長会等で、業務の持ち帰りの実態把握に努め、適切な業務量の設定と校務分掌の分担を図り、管理監督上の責任を果たしていきたい。

問 教職員の不足数は。

答 定数と教育指導等充実のため上乗せされる加配教員を合わせた不足数は、小学校3人、中学校7人。

問 学校現場の現状を解消するための今後の取り組みは。

答 中学校の部活動の段階的な地域移行、給食費の公会計化、支援員の配置による人的支援に取り組みたい。教職員の未配置に関しては、今後も強い要望を継続したい。

治水防災対策の事業について 他



徳川 禎郁



動画視聴

問 山田川堤防強化の事業計画及び関係地権者への戸別訪問の状況は。

答 山田川の河道掘削、築堤等の整備は、本市の復興まちづくり計画と一体となり、まち空間と融合した良好な河川空間の形成に取り組むこととされている。今後も地権者の方々とコミュニケーションを取りつつ、県と一体となり戸別訪問等進めていきたい。

問 学校へ行けない、教室に入れない児童・生徒に対する、学びの保障、誰ひとり取り残さない学校づくりについての教育長の考えは。

答 ICTを積極的に活用し効果的な取り組み例を市内全小・中学校で共有し、学習機会の保障や所属意識の高揚に繋げていきたい。

※他、側溝等の点検整備及び水源地の保全、危機管理について質した。

DX化への取組や 人吉城歴史館復旧計画



牛塚 孝浩



動画視聴

問 DX化により、本市でも「書かない窓口」を設置できないか。

答 窓口の在り方も含め、民間委託など様々な観点から本市に合った方法の検討を進める。

問 他市に倣ってA-タクシーの実証運行を実施できないか。

答 計画への位置付けを、今後の人吉市地域公共交通活性化協議会において検討してまいりたい。

問 人吉城歴史館の地下遺構は、復旧前であっても見学できるようにできないか。また復旧後には地元偉人の展示も実施できないか。

答 調査研究の為の見学はこれまで同様に対応したい。一般へは出前講座に加える検討を進めたい。偉人の歴史展示は検討したい。

※その他、全ての被災地の復興計画について住民説明会を求めた。

人吉市復興まちづくり 計画について



平田 清吉



動画視聴

問 大柿地区住民への集団移転候補地の住宅建設戸数並びに遊水地計画区域内外への住民の居住意向は。

答 集団移転候補地の住宅建設計画戸数については、戸別訪問等を通じて伺った住民の意向を精査しているところであり、引き続き意向を確認し、移転希望されている方の戸数を確保できるよう進めたい。

遊水地計画区域内外への住民の居住意向は、「なぜ大柿地区に遊水地なのか納得できない」、「歴史ある大柿地区を守りたい」、「住む場所が大柿地区以外では、心が安定しない」などと伺っている。大柿地区以外に居住を希望されている方からは、「被災して怖い思いをしたので移転したい」、「大柿に戻りたいが遊水地になるなら移転する」と伺っている。

オミクロン株対応 ワクチン接種について



豊永 貞夫



動画視聴

問 従来型より効果があるオミクロン株対応ワクチン接種が、9月中旬から開始と報道されているが本市の対応は。

答 重症化予防効果、及び感染や発症予防効果も期待されているワクチンを、国が9月12日に特例承認をされたので、通知に基づき準備を進めている。

問 一回もワクチン接種されていない方の接種申請方法と周知は。

答 転入者や接種券、予診票については、保健センターへ連絡いただくと案内をしている。周知は市ホームページに掲載しているが、今後は市広報や新聞への掲載、並びにワクチン接種受託医療機関へポスター掲示の協力等周知に努める。

※他、災害公営住宅家賃、ICT教育の目の健康について質した。

一般質問





ダム問題、市民の民意を
無視するのか 他



本村 令斗



動画視聴

問

被災者の会や共産党、県民の会がアンケートなどを集約した結果は、いずれもダム反対が賛成を上回っている。市長は知事に出した河川整備計画に関する意見で、流水型ダム建設を要望しているが、市民の民意は無視するのか。

答

様々な意見があることは認識しているが、市民の生命と財産を守るため、治水事業へのご理解をお願いしたい。

問

市役所の駐車場のゲート通過は、高齢者にとって困難をかかえるものであり、「市役所に来るなど言われているようだ」という声もよせられた。市役所は誰にでも行きやすい場所であるべきで、ゲートは撤去すべきではないか。

答

来庁者の確実な駐車スペースの確保のため、撤去は考えていない。

被災市街地復興推進事業について



大塚 則男



動画視聴

問

復旧・復興の事業説明会での内容について住民への周知はできているのか。

答

多くの方から理解を得る事が重要。復旧事業について意見などいただくために説明会は、平日、休日、夜間等、複数回開催している。

問

まちの賑わい創出についての市の考え方は。

答

賑わいには人が集まる、商いが繁盛するという意味もある。中心市街地は、古くから本市の商いの中心地であり、商いの繁盛が賑わいの創出発展につながると考える。

問

建築制限も2年経過したが、未だ空き地、更地が多く何ら動きが見えてこない。今後の対策は。

答

復興に向け重要課題と認識している。土地区画整理事業に基づき事業の具体化に取り組みたい。

大柿問題・市道矢黒下戸越線 他



田中 哲



動画視聴

問

大柿地区の移転のタイムリミット（法的執行）はあるのか。

答

早期に移転希望される方もおられることから、移転先の確保、再建に関する支援は全員の同意がそろう前でも先行して対応する。タイムリミットは現状では設けない。

問

安全性を選択し大柿から移転する方、残られるという方がおられるが、2つのまちづくりの考えは。

答

大柿に残られる方には、現段階では移転を優先にお願いしていく。

問

遊水地ありきでなく、住民の最大の譲歩案である縮小案や他の候補地案との組み合わせの考えは。

答

そういう意見も国に伝えている。

問

矢黒下戸越線の避難路の整備は。

答

令和6年度以降整備する予定。

※その他、西瀬橋の修理に伴う交通止めについて質した。

福川の改修について



西 洋子



動画視聴

問 福川は、市が所有する竹林の地滑りの危険性、崩壊寸前の護岸、途中川幅が狭くなっていることによる流下の妨げなど、多くの問題を抱えている。耕作放棄地を活用した一時的な水の逃げ場の確保は考えられないか。

答 まず耕作放棄地の解消に取り組みたい。遊水地としての活用については、地権者・耕作者・周辺住民の考えはもちろんだが、管理者の県からの提案もない中で、こちらからの提案は慎重でありたい。

問 特に護岸は深刻な状況の箇所があり崩壊が起きれば一帯の浸水被害は火を見るより明らか。優先されるべき課題だと思うがどう考えるか。

答 市としても、原因等を把握し、県に情報提供していきたい。

御溝川二次放水路の安全対策について



福屋 法晴



動画視聴

問 御溝川二次放水路の整備目的と完成後の安全対策については。

答 支流山江川が合流する、中流から下流の密集市街地の流下能力不足による、道路冠水や家屋浸水被害から、住民の安全を確保する事を、第一に考えるべきと思っている。また、

安全対策として、転落防止柵・ガードレールを設置し、二次放水路内の下流・中流・上流に斜路をそれぞれ一か所設け、その他の箇所には、はしごの設置を行いたい。

問 市民に対し、進捗状況の説明や、情報提供を熊本県に要望できないか。

答 市街地の各所で、道路冠水等の浸水被害があつており、熊本県のホームページ等による市民への周知をしてもらうよう要望したい。

これからの防災・減災対応とまちづくり他



松村 太



動画視聴

問 地元の協力を得て活動の連携を図り防災・減災へ備えられないか。

答 一昨年の大災害でマンパワー不足を経験している。各町内会にて自身の安全確保と防災・減災の活動を展開できるよう自主防災組織の体制づくりを支援していきたい。

問 土地区画整理事業がもたらす、まちづくりのメリットは。

答 道路拡幅にかかる地権者が施行前に近い場所での生活再建可能。狭く入り組んだ道路を拡幅し、宅地の形状を整えることで、都市機能上の課題について、街並みやコミュニティを残しながら復興できる。

問 認知症施策推進大綱にうたわれる「共生」に向けた取組は。

答 認知症を正しく理解し手助けできるサポーターや介護予防の通いの場の支援者育成を行っている。





空き家バンクについて



高瀬 堅一



動画視聴

問 空き家問題を解消するための制度「空き家バンク」の現状は。

答 令和4年9月現在で、残念ながら登録されている物件はない。

問 本制度の実績と問題点は何か。

答 これまで15件の登録があり、問題解決や登録抹消になっている。空き家バンクの登録件数が少ないため、利用の相談の際、対応がでない現状である。

問 豪雨災害で住居を消失された方々が住宅を求めている。この点での計画はないのか。

答 令和3年度に実施した「空き家実態調査」を利用し空き家対策を推進していきたい。

※その他①市長の政治姿勢②人吉しごとサポートセンター③行財政健全化計画④市民の声から（5問）について質問した。

人吉市過疎地域発展計画における公共交通



井上 光浩



動画視聴

問 公共交通の乗合タクシーについて、これまで利用者の要望にどう対応してきたのか。

答 当日予約、停留所の移動、予約時間延長、路線延伸など行ってきた。しかし多様なニーズにすべて対応するのは難しく、路線バスとの運行調整や財政問題もあり、検討したが、結果的に課題解決に至っていないのが現状。

問 過疎地域持続的発展計画に対して市長の考えは。

答 過疎債が活用できることにより、過疎地域の課題解決の動きを強力に推進することが可能となる。財政面でメリットになる一方、将来の負担となることにならない。推進事業の取捨選択や優先度を見極め、健全財政運営にも努めたい。

熊本市議会議長会を人吉市で開催

令和4年10月12日・13日、人吉市役所の会議室において第280回熊本市議会議長会を開催しました。会議では人吉市提出の「学校のICT環境整備に伴う持続的な財政支援に関する要望」、及び熊本市提出の「中九州地域の交通網の整備促進に関する要望」の議案2件を承認しました。両議案は10月27日に佐賀県伊万里市で開催されました九州市議会議長会理事会に提出されました。翌日は、青井阿蘇神社やHASSENBA、くまりばを視察しました。



市役所1階で議会中継が視聴できます！

令和4年9月の定例会から、市役所1階の市民コーナーで議会中継を視聴することができます。お時間のある方はぜひご利用ください。また、4階議場では議会が傍聴できますので、ぜひおいでください。



議会中継視聴中

「議会開会中」ののぼり旗を作成しました！

来庁者の方に議会が開会中であることをお知らせするため、「議会開会中」ののぼり旗を作成しました。当日の朝、議員で設置し、終了後も、議員で片づけをします。9月定例会では、一般質問の3日間設置しました。



議会中継モニター横にも設置



議員自ら設置しています

人吉市子ども議会を開催しました

人吉市議会では、人吉市教育委員会と共催で「人吉市子ども議会」を令和4年10月20日(木)に開催しました。

当日は、市内3中学校の第3学年の各クラスから、合計17人の「子ども議員」が、市民生活と行政との関わり、市が直面するさまざまな課題やまちづくりについて、活発に質問しました。また、各学校の代表3名が議長を交代で務め、議事進行にも挑戦しました。



《各学校の子ども議員が質問した内容》

※質問通告書をそのまま転記しています。

順	議員名・質問の項目	質問の要旨	答弁者
1	第一中学校 3年4組 子ども議員 境目 悠真、中村 瑛弥 ①観光	○アニメを生かした観光について ○自然を生かした観光について	経済部長 市長
2	第二中学校 3年2組 子ども議員 野田陽向子、大無田希星 ①歴史・文化	○人吉の歴史・文化を継承するための取組みについて ○人吉の歴史・文化を広めるためのSNS活用方法について	教育部長 経済部長 政策統括監
3	第一中学校 3年3組 子ども議員 鵜口 泰輔、黒木 泉希 ①福祉	○体を動かす場所づくりについて ○交通手段の確保について	市長 復興政策部長
4	第一中学校 3年1組 子ども議員 太田 優心、福永 結葵 ①復興	○商店街の復興について ○球磨川の利用について ○水害対策について	経済部長 復興政策部長 市長
5	第二中学校 3年1組 子ども議員 牛塚 悠登、中矢野陽斗 ①環境	○球磨川の実情を踏まえた環境整備の取組みについて ○タバコの吸殻投票ボックスの設置について ○人吉市のゴミ再利用について	市長 市民部長 市民部長
6	第二中学校 3年3組 子ども議員 田中 陽道、川越和歌乃 ①まちづくり	○今ある自然や風土を生かした魅力ある「まち」にするための取組みについて(風水町づくりの提案)	市長
7	第三中学校 3年1組 子ども議員 眞田 結維、横井 瑛美 ①観光	○名所の知名度を上げる取組みについて ○空き家の利活用について ○統一性のある街並みづくりについて	市長 市民部長 復興建設部長
8	第二中学校 3年4組 子ども議員 永田圭司郎、星原 銀月 ①防災	○災害前の取組みについて ○共助の仕組みづくりについて ○避難場所の整備について	総務部長 総務部長 副市長
9	第一中学校 3年2組 子ども議員 松岡 璃武、松岡 杏莉 ①教育	○授業の多様化について ○資格・検定試験等について	教育長 教育長

9月定例会最終日に議員発議で議員定数条例の改正案(18人→16人)が提案され、起立採決の結果、賛成多数で可決されました。これにより、令和5年に予定されている次回の一般選挙から、人吉市議会議員の定数は16人となります。



議員定数に関するこれまでの経緯・・・

令和3年3月22日開催の第9回の会議で、議員定数の検討スケジュールを協議し、本市の議員定数等の推移、類似団体及び県内各市の定数等の資料を配布して、議員対象の議員定数に関するアンケート実施を決定しました。

令和3年6月18日開催の第10回の会議で、議員アンケートの結果の報告がありました。回答者は18人全員で、「現在の議員定数(18人)をどのように考えますか。」という問いについては、「適当である」が13人。「多い」が4人、「その他」が1人という結果でした。

「適当である」の理由は、市民の声を広く拾い上げるためには現在の定数が必要。若者や、特に女性の議員を増やすためにも間口は広い方がよいのでは。他市町村との人口比だけでは決められないのでは。人口減少の観点では、いずれ見直す必要があると思うが、感染症・大災害と経験した事がない現状では、当面維持すべきだと思う。復旧、復興はこれから。というものがありました。

一方、「多い」の理由は、平成23年から人口が約4,000人減っている。議員の数も減らすべき。人吉市の現在の人口数及び将来の人口減少とさらなる高齢化による財政の減少が考えられるため。というものでした。

令和3年10月には、早稲田大学マニフェスト研究所所長の中村健氏を講師にお招きし、「議員定数を考える」と題し、議員研修を行いました。

令和3年12月21日開催の第14回の会議で、議員定数に関する市民アンケートの実施を決定しました。この市民アンケートは、令和4年2月1日発行の議会だよりにとじ込み、全戸配布を行い、各コミセン、カルチャーパレス、また郵送でも回収を行いました。

令和4年6月22日に開催の第16回の会議でアンケート結果の報告がありました。概要は、回答数は348通、議員定数について、「現在の18名をどう考えますか」という問いに対し、「今のままでよい」が64通、「多すぎる」が242通、「少なすぎる」が2通、「わからない」が40通でした。また、適正と思われる議員定数の問いでは、回答数が最も多かった議員定数は、15人、次いで10人、そして12人、などでした。

その後、8月に2回、9月に1回会議を開催し、各議員、そして会派の意見を徴取しました。

議員定数は、これまで、議員からは、現状維持という意見、減らすべきという意見、両方の意見があったところ。議論を重ねる中で、「議員からの意見も出尽くした、これ以上時間をかけても変わらない」との意見などもあり、9月議会において決定すべきとの方向になりました。

それを受けて開催された令和4年9月22日の第21回議会制度研究会において、2人減という意見が大勢を占めたため、議員定数条例の改正案の提案に至りました。

編集後記

秋の彼岸の三十三観音さん参りは穏やかな日々にも恵まれました。同行二人の参拝者も、コロナ禍もあり、災害前の数には戻っていませんが、災害から蘇った田んぼの稲穂も、やさしく参拝者を迎えていたようです。参拝されている方達の会話にも、どこか安堵の顔と微笑みが見られ、穏やかな日常が戻りつつあるように思われました。人吉市内を彼岸の方角から見守っていたみたいです、四番札所の三原観音さんの高台から市街地を見ますと、被災後の更地に少しづつではあります、家並みが見えるようになりまし。復旧・復興がさらに加速しますように、市議会もしっかり取り組んでまいりたいと思います。疫病(コロナ禍)退散。復旧・復興の願いをこめて。

(写真・文責：田中 哲)